

## 平成30年度市民公開講座

# 『小児期の発達障害の理解と支援』

## ～PART II 学齢期を中心に～

障害のある人たちが、尊厳を守られ、豊かな人生を自己実現できるよう、広く市民を対象に公開講座「小児期の発達障害の理解と支援～PART II 学齢期を中心に～」を企画いたしました。是非ご参加ください。

日時 平成30年12月15日(土) 午後2時～3時30分  
会場 府中市市民活動センター『プラッツ』5階 バルトホール  
※府中駅南口直結

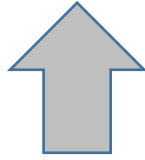
講師 小児科医 平岩幹男氏  
Rabbit Developmental Research 代表  
国立研究開発法人国立成育医療研究センター理事



定員 先着250名  
申込 電話、FAX、Eメールで受付  
参加費 無料  
主催 府中市・社会福祉法人府中市社会福祉協議会  
後援 東京都多摩府中保健所・府中市教育委員会  
一般社団法人府中市医師会・  
公益社団法人東京都府中市歯科医師会・  
一般社団法人府中市薬剤師会  
協力 府中市私立保育園園長会・府中市私立幼稚園協会・  
府中社会福祉士会・あゆの子親の会

☆問合せ・申込み先☆  
府中市立心身障害者福祉センターきずな  
電話 042-360-1313  
FAX 042-368-6127  
Eメールアドレス fs\_mail@f-sinsyo.jp





府中市心身障害者福祉センター市民公開講座  
FAX番号 042-368-6127

参加申込書（平成30年12月15日（土））

参加者		
お名前（フリガナ）	町名	電話番号・FAX
（フリガナ）		電話 FAX
（フリガナ）		電話 FAX
（フリガナ）		電話 FAX

平岩幹男先生プロフィール

略歴：1951年戸畑市（現北九州市）生まれ、1976年東京大学医学部卒業、三井記念病院小児科、1978年帝京大学医学部小児科、1992年戸田市立医療保健センター、2001年母子保健奨励賞、毎日新聞社賞、2007年同退職、Rabbit Developmental Research 開設。現在は日本小児保健協会常任理事・副会長、東京大学医学部小児科非常勤講師、国立研究開発法人国立成育医療研究センター理事

主要著書：自閉症スペクトラム障害：療育と対応を考える。岩波書店。2012、発達障害児へのライフスキルトレーニング。合同出版、2015、自閉症・発達障害を疑われたとき・疑ったとき。合同出版、2015、発達障害の子が自立するために身につけておきたい大切なこと。PHP、2017など多数

【発達障害とは】

発達の過程で明らかになってくる行動やコミュニケーションの障害で、根本的な治療はないものの、適切な対応により社会生活上の困難は軽減することが可能な障害」と私は定義しています。あくまで発達の過程で明らかになる障害であり、様々な種類があります。ADHD、自閉症スペクトラム障害、学習障害が主なものです。自閉症の中で、知的障害のない高機能自閉症はアスペルガー症候群と呼ばれていることもあります。発達障害には、適切な対応が基本です。最近はや言葉の遅れをきっかけとした幼児期の自閉症の方の受診が増加しています。適切な療育や対応によって大きく伸びる子どもたちも少なくありません。診断すら受けられなかったり、適切な対応がなく単に様子を見られていることも多いようです。

（平岩幹男先生ホームページ <http://rabbit.ciao.jp/>より）